

読書計画

平成30年10月4日
日田高等学校図書館発行

読書の秋です!

この他にも新しい本が入っています。
ぜひ図書館に見に来て下さい。



新着図書紹介



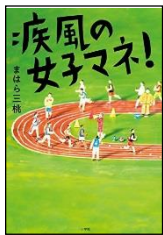
『ファーストラヴ』 島本理生//著

臨床心理士の真壁由紀は、父親を刺殺した女子大生・聖山環菜を題材としたノンフィクションの執筆を依頼される。環菜やその周辺の人々と面会を重ねていくうちに、環菜の過去が浮かびあがり…。「家族」という名の迷宮を描く長編小説。



(文藝春秋)

『疾風の女子マネ!』 まはら三桃//著



(小学館)

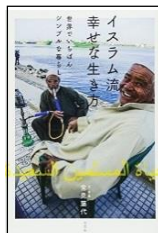
“いい男狙い”で運動部マネージャーを志望した女子高生、咲良。そんな彼女が、ある男子の走る姿に思わず目を奪われ入部した陸上部。ひとめぼれの彼はリレー選手だった…。選手たちを支えるマネージャーの視点で描く、青春物語。

『イスラム流幸せな生き方

世界でいちばんシンプルな暮らし』

常見藤代//文・写真

長年にわたりイスラム圏を訪れ、人に触れ、心底ほれ込んだ写真家が、その魅力を伝える1冊。日常から知るほんとうのイスラム。世界でイスラム教徒が増え続ける理由がわかる。



(光文社)



(NHK出版新書)

『新版 議論のレッスン』

福澤一吉//著

議論にも、スポーツと同様にルールがある。本書を読めば、国会中継、テレビ討論、ニュース番組を見る目が一変。噛み合わない不毛な議論にオサラバを!

『下町ロケット ゴースト』

池井戸潤//著

「佃製作所」社長の佃航平は、取引先からの新型エンジン採用撤回や、ロケット打ち上げ計画存亡危機により窮地に立たされる中、新たな商品開発を思いつく…。映画化、ドラマ化された人気シリーズ第3弾。



(小学館)



(KADOKAWA)

『ブロードキャスト』 湊かなえ//著

陸上の夢が潰れた町田圭祐は、同じ中学出身の正也から誘われてなんとなく放送部に入部することに。陸上への未練を感じつつも、その面白さに目覚めていく。果たして圭祐は、新たな「夢」を見つけられるか。

『風に恋う』 額賀澤//著

名門高校吹奏楽部で突然部長に指名された1年生男子。嫉妬、大学受験、ブラック部活問題を乗り越え、全国大会へ進むことはできるのか?青春エンタメ小説。



(宝島社)

『世界国勢図会 2018/19』 矢野恒太記念会//編集
『エピソードで読む世界の国 243 2018/2019』

エピソードで読む世界の国編集委員会//編 (山川出版社)

『テーマ別だから理解が深まる日本史』

かみゆ歴史編集部//編、(朝日新聞出版)

『図説古代文字入門』 大城道則//編著 (河出書房新社)

『薬草のちから 野山に眠る、自然の癒し』

新田理恵//著 (晶文社)

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎//著 (光文社新書)

『感情的になる前に知らないと恥ずかしい

中国・韓国・北朝鮮Q&A』 富坂聡//著 (講談社)

『おいしい彩り野菜のつくりかた 7色で選ぶ128種』

農山漁村文化協会//編 (農山漁村文化協会)

『カラー図解 分子レベルで見た体のはたらき』

平山令明//著 (講談社ブルーバックス)

『最新進化論キーワード図鑑』

池田清彦//監修 (宝島社新書)

『論理的にプレゼンする技術 改訂版』

平林純//著 (SBクリエイティブ)

『激甚化する水害 地球温暖化の脅威に挑む』

気候変動による水害研究会//著 (日経BP社)

『配色アイデア手帖』 桜井輝子//著 (SBクリエイティブ)

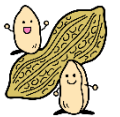
『もっと知りたいル・コルビュジエ 生涯と作品』

林美佐//著 (東京美術)

『未来のミライ』 細田守//著 (KADOKAWA)

『キュードー・ライフ!』 末羽瑛//著 (KADOKAWA)

『ケーキ王子の名推理3』 七月隆文//著 (新潮社)





小論文対策コーナーをリニューアルしました

小論文対策の本やホームページなどを参考に、小論文対策で読んでおきたい推薦図書のリストを作成しました。図書館の小論文対策コーナーにございますので、ご活用下さい。リストに載っている推薦図書は、大学の学部学科のジャンルごとにおいています。自分が受験する大学が決まっている人は、出題傾向を調べて、気になるテーマの本を読んでおきましょう。また、同じテーマの本が他にもあるかもしれませんので、同じ分類番号の書架も探してみてください。



「AI(人工知能)」「人口減少問題」に関する本。
今年の小論文のトレンドと予測されています。

🦇🎃👁️🎃 小論文対策コーナー新着図書紹介 🎃🦇👁️🎃



『小論文：書き方と考え方』 大堀精一//著 (講談社選書メチエ)

相手に伝わる文章は、どうすれば書けるのか。「文章を書く」ことの意味とは何か。論理的な文章は「異和感」から出発すると訴える著者が長年にわたる教育現場での経験に裏づけられた「書く」とこと論理的思考、そしてその相関を鍛え、自分の思いや考えを的確に他者に届ける文章の書き方を解説。「自分の言葉を持ってリアルに生きる」ための基本的教養、小論文執筆法を伝授する実戦型文章読本。

『人口減少社会の未来学』 内田樹//編 (文藝春秋)

21世紀末、日本の人口は約半数に…。人口減少社会の「不都合な真実」をえぐり出し、文明史的スケールの問題に挑む“生き残るため”の論考集。各ジャンルを代表する第一級の知性が贈る、新しい処方箋。



『AIと日本企業 日本人はロボットに勝てるか』

榎原英資//竹中平蔵//田原総一郎//著 (中公新書ラクレ)

人工知能(AI)、IoT、ビッグデータ技術の活用で、人々の仕事が奪われていく。時代は大転換期に入った。日本を動かしてきた3人が、大混乱期のニッポン経済を大胆予測する。



『ルポ保育格差』 小林美希//著 (岩波新書)

一向に解消されない待機児童問題。しかし、入れればいいというはずはない。果たして中でどのような保育が行われているのか。園によって大きな違いがあるのはなぜなのか。運次第でこんなにも格差があっているのか。迫力のレポート。

『ルポ児童相談所』 大久保真紀//著 (朝日新書)

年間10万件を超え、急増する「虐待通告」。時に親から包丁を向けられ、児童福祉司は幼い命をどう救い出すか…人もカネも不足。虐待保護の現実。取材20年の迫真ルポ。

『街場の憂国論』 内田樹//著 (文藝春秋)

急激に潮目の変わりだしている現代日本を取り巻く諸問題。壊れゆく国民国家をどう護るか、ポスト・グローバリズムの世界でどう生きていくか、何が「国難」なのか。日本の現状を解き明かし、次世代へ鮮やかなパスを回す。特定秘密保護法をめぐる「号外」収録。

『朝日キーワード2019』 朝日新聞出版//編

『日経キーワード 2018-2019』 日経HR編集部//編著

『知らないと恥をかく世界の大問題9』 池上彰//著 (角川新書)

※小論文の書き方の本や、時事キーワード本なども置いてあります。ご活用下さい。